

日 時	令和元年 12 月 3 日（火） 15:20～15:45 第 2 回経営会議
出席者	市長、渡辺副市長、平原副市長、小林副市長、荒木田副市長、政策局長、総務局長、財政局長、政策局政策調整担当理事
欠席者	
議 題	1 横浜市スポーツ医科学センターの第 4 期指定管理者の選定について【健康福祉局】
議 事 要 旨	<p>1 横浜市スポーツ医科学センターの第 4 期指定管理者の選定について</p> <p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市スポーツ医科学センターの第 4 期（R3 年度～）指定管理者の選定を、次のとおり実施する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 募集方法について、利用者との継続的な信頼関係の構築及び専門職員の人材育成と確保を着実に実施するため、これまでの応募状況を踏まえ、「公募」から「非公募」に変更する。 2 「非公募」への変更にあたり、横浜市スポーツ医科学センター条例の一部改正案を、令和 2 年第 1 回市会定例会に上程する。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市スポーツ医科学センターにおける現行の指定管理者は、公募により 5 年間の期間において、選定されている。 ・指定管理者が 5 年単位で変わり得る不安定な状態であり、利用者との継続的な信頼関係の構築や専門職員の人材育成と確保が課題となっている。 ・指定管理制度導入以降、現指定管理者 1 者のみの応募が続いており、外部の有識者による選定評価委員会において、高い評価を得ている ・スポーツと医科学の連携による一体的な運営施設は全国的に見ても少なく、今後も他の担い手が存在しないことが見込まれることから、次期指定管理者選定においては、非公募とする。 ・指定期間については、非公募としたことによる効果や施設運営の検証を一定期間内に行うため、一般的な指定期間である 5 年とする。 <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門人材を、より良い条件で他事業者に引き抜かれている状況について、しっかりと分析を行い、安定的な人材育成・確保ができる運営を行っていく必要がある。 <p>【結論】</p> <p><u>局案の方向性について了承。実施に向けては、主な意見で指摘された点を踏まえた検討を進めていくこと。</u></p>